

令和5年度 第3回 豊田市猿投台地域会議 会議録

開催日時	令和5年6月15日(木)	開会	閉会
		午後7時	午後8時10分
会場	猿投台交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：19人		
	会長：宇野 晃 副会長：近藤 鈴男		
	委員：生田 隆広	伊藤 昌明	伊藤 正史 岡本 正巳
	河合 好金	呉山 永石	須藤 尊久 塚田 芳司
	塚本 政幸	中尾 秀行	丹羽 知恵子 原田 千枝美
伴 耕治	藤井 修	藤中 佐織 本多 謙二	
山口 五郎			
欠席者	1名(清水 有樹)		
傍聴者	0名		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、太田副支所長、古橋主査		
内容	1. 豊田市民の誓い(唱和) 2. 会長あいさつ 3. 新たな提言に向けた取組について 4. 情報共有・事務連絡		

■ 議事(要約)

3 新たな提言に向けた取組

第2回会議で行ったグループワークで出た意見から、より詳細な内容を深掘りし、具体的取組を絞り込むための協議を行う。(前回と同様に3班に分けてグループワークを実施)

協議する内容と、ワークシートの記入方法について事務局より説明。

● 協議した内容について各班から発表

1班：防災の要素を取り入れた体験ひろばを作っていく。産直市場や健康づくりイベントの開催、防災訓練の実施、防災ベンチ設置などが考えられる。

ねらいとしては、幅広い年齢層が参加できるようにする点があり、実施場所は、花本バイパスや越戸駅ロータリーが考えられる。

地域の役割は、新たな人材発掘、まちづくりコーディネーターの創出、旧来の地縁組織の連携強化にすることが考えられる。

2班：猿投台地区全体の取組とするのか、自治区特有のイベントを拡大していくのか、という視点で議論した。全体の取組として、例えば、猿投台ふれあいまつりの中で一つのブースづくりといった小規模のものを進めると実現性は高く、提言としてはやり易いと思われる。地域のまつりとの特異性をどう出すのが課題である。

3班:新しいアイデアとしては、防災フェアの様なイベントの中で、模型(猿投台地区)の展示を行い、その中で火事、土砂災害などの災害を再現し、実際に燃えていく様子を見られるようにする。また、大学の先生などに講師をお願いして、小学校の授業として取り入れたり、災害場所の把握などの情報収集を行うことで、その過程で交流が生まれる。花火も加えた防災活動では、既存の避難経路の問題点の洗い出しなどを行いつつ、最後に花火を見てもらう。

4 事務連絡

枝下用水資料室(わくわく事業団体)が発行した「続・枝下用水日記」の配付

(次回の予定)

日時:令和5年7月20日(木) 午後7時から

場所:猿投台交流館1階 多目的ホール

内容:提言の協議